

九州運輸局メールマガジン 平成24年9月20日 第184号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（9月13日～9月19日掲載分）

- ・総合案内
- ・各種情報
- ・分野別情報

2 現場レポート

- ・「地震・津波避難訓練の実施」
～乗客の安全は、運転手が守る！～

3 九州運輸局セミナー

1 九州運輸局ホームページアップ情報

（9月13日～9月19日掲載分）

----- 総合案内 -----

《業務内容》

海事振興部旅客課 指定区間サービス基準一覧（改定）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaiji/file01b.htm>

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施予定情報の公表（平成24年9月13日）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_120913.pdf

企画競争実施公示（平成24年9月14日）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

企画競争に係る実施結果の公表（平成24年9月10日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA

《九州統計情報》

管内船用工業の現況

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen23.pdf>

《行政処分状況》

一般乗合旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成24年8月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai24.htm>

一般貸切旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成24年8月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/pdf/kasikiri24_08.pdf

一般乗用旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成24年8月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/pdf/jyouyou24_08.pdf

一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載を除く）（平成24年8月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kamotu24_08.pdf

一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載に限る）（平成24年8月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kasekisai24_08.pdf

----- 分野別情報 -----

《物流》

倉庫業の新規登録状況（平成24年8月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/souko2408.pdf

2 現場レポート

「地震・津波避難訓練の実施」

～乗客の安全は、運転手が守る！～

宮崎県では、東海・東南海地震、日向灘地震等の大地震の発生が危惧されています。また8月29日に内閣府から発表された南海トラフ地震・津波発生時のシミュレーションによると、宮崎県では、死者が最大で4万2千人、建物の損壊が8万3千棟に上るなど甚大な被害が発生すると予想されています。

地震・津波が発生した場合、運行中の公共交通機関は、乗客の安全をいかに守るかが最重要課題です。

平成23年東北地方太平洋沖地震・津波発生の際は、JR東日本の列車にたまたま乗り合わせていた警察官が機転を利かして避難指示をして被災を免れた事例がありました。本来、避難誘導は旅客自動車運送事業者が行うべきであり、そのためには日頃から訓練を実施しておく必要があります。

9月9日に実施された日向市総合防災訓練において、宮崎交通株式会社が、バスの運行中に大津波警報が発令された場合を想定して避難誘導訓練を行いました。当日は、中型バス1台に、地元住民、会社関係者、日向市職員及び当運輸支局職員など乗客に扮した総勢15名が乗車しました。南海トラフを震源とする地震に

より、宮崎県沿岸部において震度7の地震が発生し、高さ15mの津波が20分以内に押し寄せるといった想定のもと、バスの安全な停車方法、乗客に対する避難時の説明、実際の避難場所である小学校までの避難誘導の方法などについて、検証を行いました。

大津波警報発令から、避難場所までに要した時間は10分程度で津波到達予想時間には間に合いましたが、乗客に高齢の方がいらっしまったためか、先頭の乗客から最後尾まで30メートル以上開くなど、避難誘導の難しさを実感した場面もあり、今後の体制づくりに課題も見つかりました。

また、今回の訓練では、日向市の行政防災無線（スピーカーにより区域全域に警報を流す方法）により大津波警報を受信することを想定していましたが、走行中のバスの中では運転手に、防災無線が聞こえにくいという課題も判明しました。宮崎交通株式会社では、携帯電話による確実な情報の収集方法や、路線図に避難場所を明示し、より早く安全に避難誘導が出来るよう作業にとりかかるとのことです。

当支局からも、支局長を含め4名で参加し、現場で訓練内容のチェックを行いました。訓練で判明する課題もあることから、事業者に対し、今後も同様の訓練を重ねることにより、避難誘導が支障なく出来る体制を構築するよう指導しました。なお、当日の訓練はNHK宮崎で放送されました。

当日の様子は下記のURLからご覧になることができます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_184.pdf

【宮崎運輸支局】

3 九州運輸局セミナー

九州運輸局の各課から業務内容等を紹介するコーナーです。

今回は、総務部 広報対策官です。

九州運輸局の広報ツールは、ホームページ、メールマガジン（毎週木曜日発行）報道発表、定例記者会見（年6回程度）、広報誌「九州の運輸・観光行政」（年1回発行）などです。

九州運輸局では、運輸行政（鉄道、自動車、船舶）観光行政（国内観光、国際

観光)など、国民生活に密着した業務を行い、安全安心な公共交通・活力ある地域づくりを目指してさまざまな施策に取り組んでいます。そういった施策を推進していくためには、国民の皆様をはじめ関係事業者や地方公共団体のご理解ご協力が欠かせません。そのために、広報ツールを活用し、効果的な情報発信を行い、わかりやすい広報に努めています。

広報に携わる職員のスキルアップのため、先日、マスコミ関係者を講師とした研修会を開催しました。情報発信方法や報道発表資料の作成の仕方など、報道する側から頂いたアドバイスを今後の広報に活かしたいと思います。

このメールマガジンは、本年4月から当局各課の業務を紹介する「九州運輸局セミナー」を復活させました。皆様に興味を持って頂けるようにこれからも工夫を重ねてまいりますので、皆様からのご意見やご要望などお寄せ下さい。

【総務部 広報対策官】

//////// 編集部より //

もうすぐ秋分の日。じりじりとした暑さから解放され、静かな夜長を楽しめる季節になります。

気象台からススキの開花が発表されました。気象台が出す「生物季節観測」は、季節の変化やズレを感じてもらうためとして、観察が容易で社会的に関心が高いものを選んでいくそうです。初めて知りました。ススキにはどんな花が咲くのだろうか?と見てみると、イネの花にそっくり。ススキがイネ科だったこともまた初めて知りました。

ああ、どおりで近頃鼻がぐすぐすと……。私の花粉症センサーもなかなかの精度を誇るようです。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192